

九州地区の7年8月住宅着工戸数

前年同月比22.9%減の5,324戸、福岡県は2.8%減

国土交通省がまとめた令和7年8月の住宅着工統計によると、九州地区の住宅着工戸数は前年同月比22.9%減の5,324戸で、床面積は同20.8%減となっている。県別の住宅着工戸数は前年同月比で福岡県が2.8%減、佐賀県が25.6%減、長崎県が42.2%減、熊本県が41.9%減、大分県が40.5%減、宮崎県が20.8%減、鹿児島県が41.1%減となっている。

新設住宅着工戸数(令和7年8月、令和6年8月)

都道府県	戸数・件数(戸・件)			床面積の合計(㎡)		
	令和7年8月	令和6年8月	前年対比(%)	令和7年8月	令和6年8月	前年対比(%)
福岡	2,837	2,918	97.2	217,495	213,026	102.1
佐賀	319	429	74.4	28,629	39,793	71.9
長崎	296	512	57.8	23,527	41,238	57.1
熊本	803	1,381	58.1	67,182	113,608	59.1
大分	337	566	59.5	30,689	44,285	69.3
宮崎	323	408	79.2	27,255	35,704	76.3
鹿児島	409	694	58.9	36,098	56,139	64.3
九州地区計	5,324	6,908	77.1	430,875	543,793	79.2
沖縄	816	744	109.7	57,883	58,901	98.3
山口	502	523	96.0	42,016	44,391	94.6
全国計	60,275	66,823	90.2	4,600,552	5,039,898	91.3